

宗谷の たこ ではなく 凧 ?



稚内ブランドとして認定されている宗谷のたこ。最北のまちを代表する食の味覚ですが、同じタコでも、宗谷稚内の空飛ぶタコについてご存知でしょうか？

平成 31 年 4 月 28 日、西浜地区で、12 回目を迎える凧揚げ大会が開催されました。当日は、10メートルの風速があったものの快晴。凧愛好家にとっては絶好の条件の中、地域住民や親子連れ、「猿払凧の会」のメンバーも含め約 70 名が集まり、思い思いに凧揚げを楽しんでいました。その日、空高く気持ちよさそうに泳いでいた凧を作ったのが、

西浜地区在住で、元抜海郵便局長の ^{きむら} 木村 ^{たくみ} 巧 さん です。

プロフィール

1. 名 前 木村 巧 (きむら たくみ) 81 歳
2. 居 住 稚内市西浜
3. 名人技 凧づくり
全国から出産や長寿祝いを目的とした製作依頼多数
4. その他 自宅で「凧の家」主宰
貝殻アートや書道もかなりの腕前
「日本の伝統的な遊び（凧揚げ）を伝承していきたい」



1. いつ頃から凧作りを始めましたか？

昭和 42 年から作り続けて約 50 年経ちます。抜海地区では、地域おこしとして、郵便局員や地域の皆さんと一緒に凧揚げ大会を行い、大いに楽しみました。

2. この間の活動内容は？

凧作りだけでなく、市民凧あげ大会を 30 回、その後凧友会として、今回 12 回目の大会を行いました。日本の伝統文化である凧づくりを引き継いでいきたいと考えております。

3. 主にどんな凧を作っていますか？

江戸凧を作っています。骨組みから下絵、色塗りまで、毎日 1~2 枚が限界です。

4. 愛好者は市内に何人くらいですか？

市内の愛好者は私を入れて 3 名。この前の大会でも子供の参加も 8 名程度あり、ぜひ、この日本の伝統文化を引き継いでいきたいと考えております。

5. 東京稚内会にも知り合いの方がいるのでは？ 何かあればどうぞ。

ふるさと「稚内」にくることがあれば、是非、西浜の「凧の家」に、いつでもお立ち寄りください。お待ちしております。



風の街稚内

作曲 河村 利夫

作詞 かとう通流

- 一. 雪は溶けても ころろの中の 消えぬ悲しみ 遠い春
恋にやぶれて 泣いていた
そんなわたしが あなたに逢えた
宗谷の丘に 花が咲く 出逢いうれしい 風の街稚内

- 二. 夏はつかのま 祭りの夜も 愛を語れば すぐ明ける
熱いくちずけ 遊歩道
夢で潮騒 きいてたわたし
夜明けの霧笛 ききながら 別れせつない 風の街稚内

- 三. 夕日哀しい ノシャップ岬
そっとあなたに 身を寄せた
染まる海峡 あかね雲 涙ひとすじ こぼれて落ちた
サハリンおろしに なびく髪 恋にやさしい 風の街稚内